



親子の信頼関係を築く

校長 金泉 隆一

みなさんにご自分の子を心から信じておられますか？それとも嘘を言うことも時々あるため、そう単純には信じるとは言えないという方もあるかもしれません。

ここ数年のことでしょうか。子どもが学校で友だちとトラブルを起こした場合などに、お母さんの口から数多く耳にするようになった言葉があります。それは、

「私は子どもの言うことを信じてやります。私が信じてやらなければ誰が信じてやるのですか。」

といった言葉です。子どもを信じる・・・間違えではないのですが・・・。

ここで事例を紹介します。それは、「親の前で嘘をつき、事実とは違うことを自分に都合がよいように主張する子ども」の事例です。

A君とB君がけんかをしました。それぞれが「相手が先に手を出した」と言い張っています。学校では、双方の言い分をしっかりと聞き取り、事実関係を一つ一つ明らかにしながら指導して、A君は自分に非があったことを認め、B君に謝罪しました。B君も手を出したことをA君に謝罪して解決しました。ところが・・・その時には自分の非を認めていたA君が帰宅後、お母さんの前で嘘をつき、学校で話していた事実とは違う話を訴えたのです。

学校では、できるだけ早く正確に、あったできごとの概要と、子どもたちから聞き取った内容を該当の保護者の方にお知らせするように心がけています。この部分は学校の責任として大変重要であることは言うまでもありません。それでも、このように自宅で話が翻る場合があります。そして、「私は子どもの言うことを信じます。」とA君のお母さんが強く主張されると話は一気にややこしくなります。B君にとってもA君と先生の前で確認し了解した事実が翻るとなると、到底納得できるものではありません。事実ではないのですから…。こうしてどこまでいっても両者の見解は混じり合うことはなく、すっきりと解決できないままにそれぞれに不信感が残ってしまいます。

もちろん親が子どもの言うことを信じることの大切さには、まったく異論はありません。しかし、この事例のような場面に立会いますと、はたしてこのようなことが子どもの成長にとってよいのだろうかと考えさせられます。

この事例で、**子どもの嘘を見破るのは誰の責任でしょうか。** それは…私は「**親**」だと思います。

もし見破ることができず、「この子を信じてやりたい」と、その嘘にだまされた瞬間に、親子の信頼関係はいとも簡単に崩れさると考えられます。「なんだ、大人をだますのなんて簡単なことだ」と、いうことを逆に学習した子どもは、その後もさまざまな場面でこの手を使うこととなります。やがて「見つからなければ大丈夫」「みんながやっているから大丈夫」などという甘い判断をするようになります。こうして大人や社会を「なめていく」ことになってしまうのではないのでしょうか。

では、

「**親が子どもを信じるとはどのようなことなのでしょう**か」「**子どもと自分をつなぐものはいったい何なのでしょう**か」

私は、子どもが反抗し、親の考えどおりにいかない時にこそ、それをしっかりと親自身が直視して確認することが、子育てのうえで大切だと考えます。

「子どもに嫌われたくない」と思うのは人情です。教師にもそんな考えがよぎることがあります。ところが、そんな考えを子どもは本能的に察知します。ぐずれば、何とかなる。「みんなだってやっている」と、抵抗すれば必ず折れる。こんな考えを親にも教師にも抱いたならばその後はどうでしょうか。もう手遅れになります。いったん緩めたものはもとは、なかなかもどらないのです。

したがって、どんなに抵抗しようとも「だめなものはだめ」、みんながやっというが「だめなものはだめ」と、けっして子どもに負けない強さと、そんなことで親子の信頼関係がおかしくなったりはしないのだという強い信念が必要です。

さしあたっては、「スマホや携帯電話を買って」と、子どもが言い出すことが考えられます。もう少し大きくなれば「外泊させて」と、言い出すことも考えられます。成長とはそういうものですが、あらゆることが魅力的に見え、親への要求に反映してきます。他の友だちからも「お前のとこの親、ものわかりが悪いなあ」「かたい親だね」と子どもが言われることも覚悟しておかねばなりません。今の時代こそ、昔、私たちが親に言われたように「よそはよそ。うちのうち。そんなによそが良かったらよその子になれ！」と言い切れることが大事なのではないのでしょうか。そして、どんなに対立しようとも揺るがない関係をしっかりと作っていくことが、「子どもを信じる」ということの核になればならないと思うのです。

どんなときでも、話をじっくりと聞いてくれるしわかろうとしてくれる。しかし、絶対にだませない厳しさをもっている。だからこそ、この人を悲しませるようなことはしてはならないのだと思わせることが、「子どもを信じる」うえでは大切なことではないかと思えます。

このような関係は学校だけとか家庭だけでできるものではありません。学校と家庭が同じ価値観をもって、まさしく両輪のようになって実現していけることであります。今後もどうか本校のよきパートナーとしてご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。



7月行事予定

日	曜	行事予定	相談室	かへいキッズ (年)	あいさつ当番
1	日				
2	月	全校朝会 たてわり班給食		3~6	3-3
3	火		○	1・3・5・6	
4	水	特別時程 委員会活動 プラネタリウム見学(4年)		1・2・4	
5	木	都学力調査(5年) パワーアップタイム		2~6	
6	金	個人面談① 特別時程 5時間授業 音楽集会	○	2~6	
7	土	土曜授業		なし	
8	日				
9	月	全校朝会 個人面談② 特別時程 5時間授業		3~6	2-1
10	火	個人面談③ 特別時程 5時間授業	○	1・3・5・6	
11	水	4時間授業		1・2・4	
12	木	個人面談④ 特別時程 5時間授業		2~6	
13	金	安全指導日 クラブ活動 開かれた学校づくり協議会 19:00~	○	2~6	
14	土				
15	日				
16	月				
17	火	全校朝会 個人面談⑤ 特別時程 5時間授業	○	1・3・5・6	2-2
18	水	4時間授業		1・2・4	
19	木	水集会 特別時程 5時間授業		2~6	
20	金	夏休み前最終登校日 夏休み前全校朝会 給食終わり 特別時程	○	なし	
21	土	夏季休業日始まり			
22	日				
23	月	サマースクール前半始まり 学習補充教室前半(～7/30(月))			
24	火	学習補充教室 水泳教室(～7/30まで) ★検定日は、27日(金)			

8月の主な行事予定

27日(月)～30日(木)
サマースクール後半
学習補充教室・水泳教室



9月前半の主な行事予定

1日(土)	水泳大会
3日(月)	夏休み明け登校初日 通学班登校 給食始まり
4日(火)	発育測定(4年)
5日(水)	発育測定(2年)
6日(木)	発育測定(1年) 学力調査(再) 通学班登校終わり
7日(金)	個別登校始まり 発育測定(3年) 安全指導日
10日(月)	交通安全教室(1・2年)
10日(月)～15日(土)	夏休み作品展
11日(火)	保護者会(低学年→全体会→高学年) 特別時程
13日(木)	発育測定(5・6年)
14日(金)	委員会活動 特別時程
15日(土)	土曜授業 クリーン作戦

生活指導部より

力を合わせて掃除をしよう。

加平小学校では、全校で無言清掃に取り組んでいます。落ち着いて静かに掃除に取り組めるようになり、全校朝会では、美化委員会から表彰されるクラスも出ています。教室美化はもちろんのこと、児童の集中力アップも目指しています。自分たちの学校を自分たちの手できれいにしてから夏休みを迎えられるよう、今月の目標は「力を合わせて掃除をしよう」です。ご家庭でも、お子さんと一緒に夏の大掃除に取り組んでみては、いかがでしょうか。

○ 個人面談のお知らせ ○

7月6日(金)、9日(月)、10日(火)、12日(木)、17日(火)の5日で個人面談を実施いたします。

4月からの学校での様子や区の学力調査の結果を踏まえて、夏休みに取り組んでほしい学習内容等を中心に話す機会をもちたいと思います。日時等の詳細につきましては、各担任からのお知らせを参照願います。

○ 夏季学習補充教室のお知らせ○ (全学年の一部の児童対象)

今年度もより多くの児童の基礎・基本的な学力の定着を図るため、夏季学習補充教室に重点を置いて取り組みます。

後日、対象児童のご家庭には担任からご連絡致します。

前半7月23日(月)～7月30日(月)(土日は除きます。) 後半8月27日(月)～8月30日(木)

○ 夏季水泳教室のお知らせ ○

夏季水泳教室を、本年度も実施いたします。夏休みは記録を伸ばすチャンスです。できるだけ毎日参加するようご家庭でも励ましの声かけをお願い致します。詳細は後日、別紙にてお知らせ致します。 検定日：7月27日(金)、8月29日(水)

前半7月24日(火)～7月30日(月)(土日は除きます。) 後半8月27日(月)～8月30日(木)

鋸南自然教室を終えて

5年担任 堀込 太郎

5年生は、6月13日～15日の2泊3日で鋸南自然教室へ行きました。初日は、まず花王の川崎工場を見学。日頃から見慣れた商品には、たくさんの工夫や環境への配慮があることを知りました。次にアクアラインを通過して鋸南町へ。鋸南町では、じゃがいも掘り体験をしました。農家の方が掘り方のコツを丁寧に教えてくださり、たくさんのじゃがいもを採りました。夜のキャンプファイヤーでは、ゲームにダンスと大盛り上がりでした。子供たちから、「この瞬間を大切にしてみんなで思いっきり楽しみたい」という姿が見られました。2日目には、保田漁港で、活気のある競りや活きのいい魚たちの様子に目を輝かせました。美しい自然に囲まれた城山公園では、館山城や日本庭園、孔雀などを見て散策しました。砂山滑り体験では、急激な砂山の頂上までみんなでそりを持って登りました。遠くまで広がる空。頂上から見下ろしながら砂山を一気に滑っていく子供たちの楽しそうな表情が忘れられません。その日は、火起こし体験にも取り組みました。自分たちで工夫しながら火起こしして焼いたじゃがいもを、おいしくいただきました。3日目は、鋸山・日本寺に行きました。地獄のぞき、百尺観音などの迫りに圧倒されました。登りが大変な階段の道もみんなで励まし合って登る姿も見られました。帰りはフェリーに乗って帰校しました。普段見ることのできないデッキも見学し、船の運転の仕方にも興味深々でした。

子供たちには、見学や体験で学んだことだけでなく、自然の家で学んだ「自分のことは自分でする」ということを忘れずに、これからの学校生活にも生かして欲しいと思います。

友達との関わりの中で育む力 (異学年交流など特別活動を通して)

特別活動担当 流尾 里恵子

6月21日木曜日、雨に降られることもなく、元淵江公園へ全校遠足に行きました。1年生から6年生でのたてわり班で、上の学年と下の学年で手をつなぎ「大丈夫?」「頑張っ!」と、励まし合いながら歩いて行きました。公園では、オリエンテーリングや生物園の見学、クラス遊びをしました。「加平 商店街オリエンテーリング」では、魚屋さん、八百屋さんなど、それぞれのお店に課題があり、班の仲間と協力して挑戦し、クリアすると暗号のひと文字が書かれたシールをもらいます。オリエンテーリングの内容は、代表委員の子供たちが考えました。みんなが楽しめるように工夫して考えられています。高学年は、当日だけでなくたてわり班活動など準備からたくさんの力を注いでくれました。どの班もまとまって行動でき、公園の緑の中、明るい歓声や笑顔、優しい声かけがあふれ、和やかに楽しんでいました。

学校に戻ってきた時には、自分たちの力で助け合い、遠足という大きな課題を乗り越えたことで、子供たちの表情に安心感や達成感が表れ、また一つ心も体もたくましく成長したように見えました。

朝早くからお弁当作り等、準備をしていただきありがとうございました。また遠足を実施するにあたり、子供たちの安全のために臨機応変に対応し見守りをいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

今後も委員会やクラブ、クラスでの係活動など友達との関わりを通して、一人一人がよいと思うことを進んで行うことで自己有用感を感じたり、一人一人のよさを生かし合ったりしながら、自主性や協力性、思いやりの心などを育てていきます。

○学校メールについてのお知らせ○

全校遠足や不審者情報などの学校メールが届かなかった場合は、担任にご連絡ください。後日対応方法をご連絡させていただきます。

6年 日光自然教室

5月28日(月)

~5月30日(水)



日光彫体験



魚のつかみ取り体験のあと



東照宮

5年 鋸南自然教室

6月13日(水)

~6月15日(金)



キャンプファイヤー



砂山すべり体験



農業体験

全校遠足

6月21日(木) 元湊江公園



加平商店街オリエンテーリング
「スポーツショップ」



たてわり班で昼食